



一 般 質 問 …… P 2 ～ 8

9月定例会 昔農議員・籠味議員・濱田議員・
溝口議員

町 議 会 審 議 結 果 …… P 9 ～ 11

9月定例会

決算審査特別委員会報告 …… P 12 ～ 13

議 会 ア ン ケ ー ト 結 果 …… P 14 ～ 15

委員会等の動き・意見書 …… P 16 ～ 17

表 紙 の コ メ ン ト …… P 18

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



観光用のレンタル電動キックボードをPRする、
大雪山ツアーズの穴戸さん(左)と瀬川さん(右)
(9月21日、層雲峡インフォメーションセンター)

第6回町議会

町政を問う



一般質問

令和4年第6回町議会（定例3）の一般質問は、9月14日に行い、昔農議員ほか計4人が町長の考え方を問いました。

（記事の内容は要点を掲載しております。）

さまざまな物価の高騰やコロナ禍が続く中、一般家庭に加え各種事業者においては大変厳しい状況におかれている。特に、農業においては、コロナ禍による農畜産物の需要減退などにより需要環境が悪化する中、燃料や肥料および飼料などの生産資材が大幅に高騰しており、農業経営を圧迫させる危機的状況にある。

国では地方創生臨時交付金を増額し対応策を進めているが、町においても物価高騰対策として幅広い支援が必要ではないか。町長の考え方は。

町内の経済が回復する効果的な支援を



（昔農正春議員）

住民生活の安心

物価高騰対策の幅広い支援を

町長―地域経済の活性化に寄与したい

町長答弁

現在の物価高騰の要因は、ウクライナ情勢と新型コロナウイルス、更には日米の金融政策の違いによる円安が追い打ちをかけていると言われ、長期化している状況から、住民生活や事業経営に大きく影響を及ぼしていることは、農業者において、肥料、飼料および燃油の高騰により厳しい環境にあることは認識しており、心配もしている。

こうした中、国からの地方創生臨時交付金（新型コロナウイルス感染症対応）を活用し、原油価格・物価高騰対応として、各種支援策に係る補正予算を6月町議会定例会で提案し、認定してもらった。

特に農林水産業者に対しては、令和2年度もしくは3年度と比較して、高い肥料等購入額に、物価上昇率の割合の一部（3%）を乗じて得た額を補助する農林水産業肥料・飼料・燃料価格高騰対策支

援事業2300万円を措置し、現在、各農業者からの申請を受け付け、2137万円を補助し、執行率93%となっている状況であり、十分とは言えないが、一定の支援を講じられたと考えている。

また、国においては、肥料高騰対策として化学肥料の使用量低減を図る農業者に対して7割の補填（ほてん）が実施されるとともに、道においても化学肥料購入支援として、1トン当たり3125円の支援金が給付される対策が行われている。

さらに飼料についても、国において配合飼料価格安定基金への積み増しを行い価格高騰への影響緩和対策が実施されている。



（9月定例会の町長答弁）



(上の写真は昨年のもの)

今後の「物価高騰対策として幅広い支援」については、今定例会において、地方創生臨時交付金の追加事業として、1世帯あたり1万2千円分の応援券を発行する「上川町地域生活応援券事業（第2弾）」の実施に係る2525万8千円の補正予算を提案し、冬期間の経済的負担の軽減を図るとともに、地域経済の活性化に寄与したいと考えている。

国では、物価・賃金・生活総合対策として、臨時交付金の増額等も検討しているようで、具体的な内容が今後明らかになってくると思われるので、それらの動向に注視しながら、町として重点的、効果的な支援策を措置していきたい

と考えているので、ご理解をお願いしたい。

再質問

今、農業は水田活用直接支払交付金の国の見直しやウクライナ情勢が先行き見通せない中で、来季以降の営農においても不安定な状況である。今後の持続可能な少しでも安定した営農が出来るよう、より効果的な支援策を取り組んでもらいたい。

また、農業以外の町内すべての事業者においても厳しい状況であるが、中でも観光は、大手ホテルが休業を予定しているなど、コロナ禍で客足も伸び悩み宿泊客もコロナ前の半分にも満たない状況。これらに対応した事業者に対する支援、観光客誘致に向けた独自支援策が必要と考える。

さらに、一般家庭では、食品全般で値上げが止まらず、燃料価格も高止まりが続く、需要期を向かえ家計に与える影響が大変大きい。国では住民税非課税世帯に1世帯5万円の給付金支給が決定されたが、非課税世帯に該当にならないような、年収200万円前後以下

の世帯で本当に大変な世帯には国の支援が届かないのが現状である。今後、こうした低所得世帯にも目を向けた家計の負担軽減につながる施策も考えていただきたい。

今後に向けた対応策全般について、町長の考えを伺いたい。

答弁

農業については、何とか乗り切っているのが現状とされている。問題は、今年から来年にかけ肥料および飼料へ影響していくと思う。国・道も農業を中心とした手厚い施策を打つという姿勢を示している。なので、しっかりと見極め、町としてやれることはぜひ、いろいろ手を打っていききたい。

その他全般、とりわけ観光は大変である。層雲峡の入込みを見て、少しは良くなるのかと思ったが、6波、7波による影響を受け、また抑制せざるを得なく大変な状況下にある。

また、第1次の段階で融資を受け何とか乗り切ってきたが、償還の時期に入ってきているので、非常に大変で、今後国からの交付金を何とか有効に使って観光面にお

ける手当もしっかりやっていきたい。

今までの現状をお互い共有しながら、何が今一番有効なのか、関係団体と相談しながら進めていきたい。国のほうも事業経営、一般家庭に対する支援という形で手を打とうとしている。町では今回、全世帯に1万2千円を自由に使うてもらおう生活応援券をこの議会に提案しているが、生活支援だけでなく商業への経済的な波及効果も及ぼすと思っており、そのような両面からの目的をしっかりと押さえ、手を打っていききたい。

いずれにしても、国・道の動向を見極め、内容を詳細につかんだ上で、町として可能な施策を打っていききたい。

昔農議員

町内の落ち込んだ経済が少しでも回復するような、より効果的な支援策をぜひ取り組んでほしい。

第10次上川町総合計画の評価は

町長―地域の活力と魅力あるまちに

後期実施計画の具体的な考え方など



(籠味正樹議員)

今年度で前期実施計画が終わり、後期実施計画の策定が行われると思う。その上で、次の事項について質問をさせてもらう。

①後期実施計画の策定のための具体的なスケジュールについて

②長期計画策定後に新型コロナウイルス感染症の影響、オンラインによる働き方の変化など、大きな社会情勢の変化があったと思います。後期実施計画において、どのように対応していくのか。

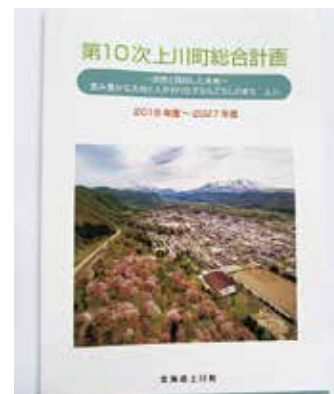
③長期計画終了時点のまちの将来像として「自然と調和した未来」恵み豊かな大地と人がおりなすおもてなしのまち 上川」と定め

ているが、現時点でどのように評価されるのか町長の考えを伺いたい。

町長答弁

第10次上川町総合計画については、2018年度から2027年度までを計画期間として策定をし「一人ひとりが主役のまちづくり」「心の豊かさを追求するまちづくり」「広域的な視野に立ったまちづくり」を基本理念に据え、まちの将来像を「自然と調和した未来」恵み豊かな大地と人がおりなすおもてなしのまち 上川」と定め、6項目の基本計画(まちづくりの目標)をベースとした実施計画を策定し、その実現に向け各施策に取り組んでいるところである。

実施計画の前期5年間が今年度で期限を迎えることから、2023年度からの後期実施計画



(第10次上川町総合計画表紙)

の策定にあたり、籠味議員から3点に渡っての質問を受けているので、順次、お答えしたい。

まず1点目の計画策定のスケジュールについては、現在、各課に対し、9月30日を期限として実施計画ヒアリング調書の作成を求めているところである。その後10月下旬に副町長、11月上旬にわたしの内容精査を経て、素案を策定後、議会への説明を行っていくと考えている。

2点目の大きな社会情勢の変化への対応であるが、新型コロナウイルスによる働き方、生活様式の変容への対応、この視点は、極めて大切であり重要なものと考えているが、そのことに捉われ過ぎず、に持続可能な社会や多様性の尊重

など、これまでも取り組んできている施策と新たな視点での施策を融合させ「魅力あるまち」となる実施計画の策定を図ってまいりたい。

3点目の現時点での評価についてであるが、先ほども申し上げているとおり、前期計画は今年度が最終年ということでもあり、事業執行を踏まえた評価は次年度となることから、具体的な評価についての答弁は差し控えるが、この5年間には、新型コロナウイルスの猛威による影響が大きくあったことは否めないが、そうした中にあっても、企業との連携による事業展開や地域おこし協力隊などを巻き込み、町民の皆さんのご協力を得ながら、弾力的で柔軟な行政運営が一定程度、図れたものと考えている。

いずれにしても、地域の活力と魅力を生み出す、後期実施計画の策定に努めていきたいと考えている。

再質問

計画書によると「計画」「実行」「評価」「改善」という工程(PD



CAサイクル)で進捗管理を行うことにより、総合計画は確実なものになるとされている。後期実施計画の策定前に「評価」「改善」はどのように行われてきたのか。

答 弁

基本的には、各課での事業評価をしっかりとやっていく。できるかぎり数値化をして、分かりやすい評価をしたい。評価結果を役場全体、また町民とも共有し、策定をまとめていきたい。

再質問

役場内では、若手職員を対象にして先進地に学ぶなど、政策立案能力を高める研修を行っている。先進地に限らず、足元の上川町の事業を評価してはどうか。また、担当でない課の視点から事業評価することも改善につながるのではないか。

答 弁

非常に大事な視点だと思う。わたしも「自分のセクションにこだわらず、全体を見てほしい」と役場内で強調している。町を担っていく若者の人材育成はしっかりとやっていかなくてはならない。



再質問

社会情勢が変化し、町民の暮らし、経済が困ったとき、町が財政出動しなくてはならない場面があると思う。事業経費の使い方に無駄な経費はなかったのか、発注の仕方など、シビアに評価し、財政余力を残すことが、いざというときのためになるのではないか。



答 弁

無駄な投資をしてきたとは思っていない。それぞれでしっかりと判断して、行っている。今後起きるであろう事象や災害などに対応できるよう、「ゆとりある財政運営」をやっていく。基金も確保しながらやっている。

再質問

総合計画のそれぞれの事業においては、5年で振り返るより、事業によつて1年、あるいはもっと短い期間で評価、改善を繰り返すことが、実効性を高めるのではないか。後期実施計画においては、評価を高めることが、次につながるのではないか。

答 弁

事業によつて、評価サイクルを一律で考えることは無理だと思う。見極めながらやっていく。PDCAだけでなく、毎年の予算段階でのヒアリングも総合計画を意識して、しっかりとやっていく。

健康の環境整備

町民が元気で暮らせる環境を

町長―健康増進の維持構築をしたい

健康のまち 上川町に



(濱田純子議員)

の方々がさらに連携を図って、一人でも多くの町民が元気に暮らせる。健康のまち 上川町。とうたえる環境を整えてはいかがと考えるが、町長の考え方を伺いたい。

町長答弁

今年の5月中旬より、総合体育館で運動スポーツ習慣化促進事業の一環として「トレーニングでからだづくり」が開始され、幅広い年齢層の方が健康体を目指し、トレーニングサポートを受けているとお聞きした。

それは、皆さんが健康意識を高く持っていることの表れで、これを機に上川町の健康サポートの在り方について、改めて考えたいと思う。

上川町には、健康サポートができるインストラクター、保健師、管理栄養士等知識や情報また資格を持っている方々が多数いる。そ

まちの健康増進施策として、国の「健康日本21（第2次）」に基づき、住民の生活習慣病予防に視点を置いた「健康かみかわ21（第2次）」を策定し取組みを進め「第3期スポーツ基本計画」に基づき、スポーツを通じた健康増進による健康長寿社会への取組みを進めている。

現在、住民の方々への健康増進サポートの体制は、保健活動を中心に健康、栄養の相談や特定健診指導、健康教育などを、個別や地域、団体及び各事業所に実施をしている。地域全体の健康の増進に努めているところである。



また、今年度から体育館で実施の「トレーニングでからだづくり」事業については、企画立案や参加者の健康に関する相談事項などについて、住民の健康づくり、体力づくりの取組みをしている。

今後、地域住民の多様な健康状態やニーズに応じて、住民が元気で暮らせる「健康なまち」を目指していく。

さらに、健康づくりやスポーツ活動を通じて、町内のヨガや筋トレのインストラクターなどの健康資格を有する方々と保健師・管理

栄養士など職員が連携を図り、第10次上川町総合計画まちづくりの大綱にあります「一人ひとりが安心して健やかに暮らせるまち」として、住民の方々への健康増進のサポート環境を維持、構築していきたいと思っている。

再質問

予防未病の観点から若年層の健診が望ましいと思う。20歳から39歳の健康診断の初年度を町独自で「二十歳の特定健診」と位置付けて新成人から健診の習慣を身に付けるよう広めてはどうか。

答 弁

これからのまちづくりにとって、非常に大事な視点だというふうに思う。今行っている健康指導等を含めて、予防のための健診等を強化し、スポーツ等を通じ、体力増進の新しい取り組みを始めていくので、十分に活かしながら健康増進の環境づくりを進める。



(総合体育館内のトレーニングマシン)

再質問

多様な選択肢があればより多くの方がスポーツに携わって、それが健康につながっていくと思う。トレーニングマシンやヨガ、ウォーキング、ジョギング、自転車、ダンス、パークゴルフ、歩くスキー等上川町で可能なことを検討し、さらに環境を整えてほしい。二十歳の健診と若年層の健康管理強化が予防医療につながるので、検討してほしい。

答 弁

中期的に考えたとき、若年層に対する健診等は非常に必要だと思う。若年層に対する健診体制の強化を進め、今後もぜひ検討したい。

再質問

保健師が健康指導や管理の町民の窓口として、町の健康コンシェルジュ(相談員)として、町民に親しまれる存在になってほしいと思うがどうか。

答 弁

保健師・管理栄養士が健診等予防活動を行っているが、もう少し一人ひとりの住民と気楽に接触できる環境づくりに努力したい。

再質問

役場は町民がより快適に暮らせるよう環境をサポートするサービス業であると思う。健康に暮らせる環境がなければ上川町から離れ、移住・定住につながらず人口減になってしまう。町民ファースト(第

二)の環境を整えてほしい。

答 弁

住民にとって存在感のあるサービス

事業としての事業推進を行わなければならないと思う。もったいなく、細やかにチェック、検証し今後のまちづくりにあたりたい。

リフォーム助成

さらなる事業内容の見直しを

町長―状況を把握し、取り組みたい

エコ関連等の内容や金額の見直しを



(溝口久男議員)

さらに補助金対象の内容、補助額などの見直しが必要ではないかと考えるが、町長の考えを伺いたい。

町長答弁

町では平成24年に上川町住宅リフォーム等補助制度を作り、おおむね4年ごとの時限制度として活用、平成28年度、令和2年度に一部制度改正をしながら、町民が安心して快適に暮らすための住宅整備を促進してきた。

これまで補助額や補助率、対象事業については各市町村の内容あるいは利用状況なども勘案をしながら、その都度見直しを図ってきた。

上川町では、平成24年度から住宅リフォーム等補助金の交付を行っている。制度では、町内業者の振興や福祉につながるバリアフリー、省エネにつながるエコリフォームに対して、一定の補助金を交付するものであり、事業実施から10年が経過し、一部改正しているようだが、

ている。

現行制度にて活用促進を行い、利用をもとに必要に合わせ見直しを図りたい。

再質問

この制度の利用は9割近くが一般リフォームと住宅の解体である。現状では省エネ、エコリフォーム等の利用が少ないが、行政が進める事業として、温暖化防止に向けた住宅リフォーム等補助金に一部



見直すべきではないか。

答 弁

利用実態は非常に低いが、今後利用者を広げるため、制度の見直しを行う必要があると判断している。エコに限定した見直しを行いたいと思う。

再質問

ここ数年、特に産廃のごみ処理料金の値上がりが顕著で、解体工事費用が値上がりし、利用する町民の負担が大きい。補助金の見直しが必要ではないか。

答 弁

この制度を利用し、解体の取り組みが進んだと思う。しかし、補助金額全体を引き上げることが現状考えていない。解体に係る負担がどの程度なのか把握に努めながら、今後検証していきたい。

再質問

町内には何年間も手つかずの廃屋、特定空家があると思うが、上川町の空家対策計画の中で、解体を計画的に進めていくとなっているが、解体は進めているか。

答 弁

解体について、従来に増して進んでいる。およそ4年毎に利用状況を確認、今後全体的な検証を行い対応していく。



(住宅解体の様子)

再質問

関連して、層雲峡の廃ホテル解体について、現状どうなっているのか。報告できる内容があれば伺いたい。

答 弁

国が直轄で対応することがだいたい決まった。補助事業で約2分の1程度は地元負担と予想している。令和6年度頃から具体的な撤去に向けた動きが出てくると想定しているが、仮橋等の問題もあり、現段階では不明である。方向は、はっきりしたと捉えている。

溝口議員

住宅リフォーム等補助金事業について、住民の使いがてのいい、現状にあった制度の見直しを進め、今後も対応していただきたい。
また、廃ホテル問題では、地元負担の無い国直轄の解体工事を進めてほしい。

議 案 審 議 結 果



審議に係る採択結果については、全て原案のとおり可決・承認等されており、「賛成多数」と表示されているもの以外は「全員賛成」になっております。
「賛成多数」の詳細については、『賛否の公表』（11 ページ）をご覧ください。

9月定例会

9月14日に開会し、会期は16日まで。令和3年度一般会計ほか全8会計の決算認定、条例の一部改正4件、令和4年度一般会計ほか全2会計の補正予算、契約の締結などの29件を審議し、15日閉会。

付 託 議 案

■付託

- ◎令和3年度一般会計ほか全8会計の決算認定について
・決算審査特別委員会に付託

可 決 議 案 等

■専決処分

- ◎専決処分（令和4年度上川町一般会計補正予算（第3号））の承認を求めることについて
○歳入歳出それぞれ440万円を追加し、総額を57億1,596万8千円とするもの。内容は、道路災害復旧工事に係る補正で、地方自治法第179条第3項の規定に基づき、議会に報告し承認を求めるもの。

質疑内容

- ◎道路災害復旧工事について

Q（籠味議員）この工事は、完了しているか。

A（建設水道課長）災害のあった6月30日より復旧工事を開始した。一部を7月1日に開通し、その後、随時修理を行った。既に完了済みである。

■契約の締結

- ◎旭町望岳団地建設工事（建築主体）請負契約の締結について
○旭町望岳団地建設工事（建築主体）に係る工事請負契約の金額が地方自治法及び同法施行令で定める契約基準額5,000万円を超えることから、議会の議決を求めるもの。

■条例の改正

- ◎上川町議会委員会条例の一部を改正する条例について
- ◎上川町課設置条例の一部を改正する条例について
○現行の行政組織を再編し、新たに「地域魅力創造課」を設置するため、関係条文を一部改正。
- ◎上川町議会議員及び上川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
○公職選挙法施行令に規定する国政選挙の公営単価が引き上げられたことから、国に準じ、条例の限度額を一部改正。

◎職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

○国家公務員において、育児休業の取得回数制限の緩和と男性職員の育児参加促進のための「産後パパ育休」制度が10月1日から開始されることに合わせ、地方公務員においても同様の措置が講じられることに伴い、関係条文を一部改正。

■補正予算

◎令和4年度一般会計補正予算（第4号）「賛成多数」

補正予算（主なもの）

款	補正額 7,419万5千円	補正前の額 57億1,596万8千円	補正後の額 57億9,016万3千円
総務費	4,282万4千円	役場庁舎パイロットオフィス設営・DX推進事業、特殊建築物報告業務委託料、上川町生活応援券（第2弾）事業、民間賃貸住宅活用に係る各種経費、移住定住促進団地開発行為申請経費他	
民生費	478万4千円	障害者自立支援医療費受給事業、介護保険事業特別会計繰出金	
衛生費	1,690万4千円	新型コロナウイルスワクチン体制確保事業、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	
農林水産業費	117万1千円	農業委員会情報収集等業務効率化支援事業、農業用施設整備事業関係経費	
商工労働観光費	510万円	産業振興補助事業補助金、事業承継・新規開業支援事業補助金	
土木費	341万2千円	都市公園安全・安心対策事業関係経費、住宅リフォーム等補助金	

質疑内容

<言葉の注釈>

- ①プロポーザル方式＝請負価格だけでなく、企画を含めた提案をすること
- ②パイロットオフィス＝試験的に小規模で始めるオフィス改革
- ③DX＝デジタル技術を使って、人々の暮らしを豊かにすること

◎役場庁舎パイロットオフィス設営・DX推進事業について

Q（泉議員）この事業に対してデザイン等の提案をするための委託料なのか、また備品購入費も予算化されているが、詳しい内容を伺いたい。



（他町のオフィスの様子）

A（企画総務課長）働きやすさやなどをしっかり構築をしていくための庁舎改修を行う。この委託料については、プロポーザル方式で、オフィスの改修に伴ってデザイン性、機能性をしっかり勘案して業者を決定して実施していきたい。備品等と考えられるものも今回はプロポーザル方式で決定をしていきたい。電子機器、モニター等オフィスに必要な備品について、備品購入費で購入する。

Q（泉議員）普通は、デザイン等項目をあげ、入札にかける方法を取るのではないかと、備品だけが出ているので、理解できない。備品購入だけなのか。

A（企画総務課長）単に備品の部分ではなく、組立や設置等を含めた委託料。工事や設置に関するものの部分についても委託料の中に含めている。

Q（笠間議員）パイロットオフィス設営に関して、反対意見である。時代のニーズで、このようなブースを設けるのは理解できるが、コロナ禍、物価高騰などの中、町民のためになるのか。庁舎内に1,300万円もの予算をかける必要があるのか。また、新しい部署ができるので、職員間のコミュニケーションも心配。職員間で本当に必要としているのか。

A（副町長）先を見据え、今のうちからDXを推進し、上川町としてペーパーレス化等に取り組む仕事を進めていきたい。コミュニケーションについては、コミュニケーションを取れるスペースを設け、仕事に携わっていくやり方を進めていきたい。

◎令和4年度上川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

款	補正額	補正前の額	補正後の額
	26万3千円	4億7,342万7千円	4億7,369万円
保健事業費	26万3千円	特定健康診査等事業経費	

◎令和4年度上川町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

款	補正額	補正前の額	補正後の額
	2,590万1千円	4億6,179万円	4億8,769万1千円
総務費	39万6千円	介護保険制度システム改修委託料	
諸支出金	2,067万6千円	国庫負担金等返還金	
繰出金	482万9千円	一般会計繰出金	

■決算認定

◎宮本決算審査特別委員長から令和3年度各会計決算について、原案のどおり認定すべきものとの報告があり、令和3年度各会計決算を委員長報告のとおり認定するもの。

※決算審査特別委員会の審査内容の詳細は、12～13ページをご覧ください。

■任命同意

◎上川町教育委員会委員の任命について

- ・9月30日で任期満了となった安藤智昭さんに代わり、新たに伊藤聖健さんを委員に任命することに対し、同意するもの。

賛否の公表		上川町議会は、議員の活動に対して情報の提供に努めるため、議案に係る各議員の賛否を公表することとしています。 ※議員名の掲載は左から議席順											
本会議名・議案名	採決結果	笠間法考	久米得正	泉勝雄	遠藤和男	湯川秀一	宮本敬嘉	籠味正樹	溝口久男	昔農正春	濱田純子	安部逸雄	
令和4年第6回町議会（定例3） ◎令和4度上川町一般会計補正予算（第4号）	可	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
可：可決　○：賛成　×：反対　－：議長の場合、可否同数以外は採決に参加しません。 ※賛否については、「賛成多数」についてのみ掲載しています。													

決算審査

—— 令和3年度一般会計ほか全8会計の決算を認定 ——

決算審査特別委員会では、9月14日開催の定例町議会で付託を受けた令和3年度各会計決算について、14日と15日に審査を行い、全会計の認定をしました。特別委員会の審議内容をお知らせします。

決算審査特別委員会 質疑 (決算審査において行われた質疑の一部を紹介します)			
質 疑		答 弁	
総務費	おもてなし事業について、実績額が前年度より約2倍となっている。増となった理由は。 (籠味委員)	令和3年度において、既存の事業のほか、層雲峡のホテルで、従業員の方々を対象に講師を呼んだ講習会を実施してきている。 (企画総務課長)	
寄附金(歳入)	ふるさと応援寄付金について、過去決算委員会の中で用途目的について、現在ある8項目を、より具体的にしたいほうが納税者にイメージできて効果があるのではないかと発言し、その時に検討するとの回答をもらっていた。検討したのか。 (籠味委員)	この間、予算編成の中でもいろいろと内部で議論、協議を行ってきた。現在の項目、それ以外にどういったことがいいのか、しっかりと納税者に明確にしていこうと議論してきたところであるが、用途の部分については現行のままで、当面行くという形になった。 用途については、しっかりと納税者にわかるように公表し明確にしていきたいと考えている。 (企画総務課長)	
農林水産業費	農地改善対策事業に上限額があり、物価高騰により生産者の負担が増えてくるため、事業内容の在り方などを検討してほしい。 (遠藤議員)	時限立法にて5年間、500万円の上限予算にて事業を執行している。現在、町としてはその金額を予定しているが、飼料、肥料の高騰対策や環境の変化により、今後、農協やそれぞれの生産者の方々の希望を聞き取りながら、まずは把握に努めてまいりたい。来年度実施するところは把握しているが、令和6年度以降は把握していないので、以降の事業規模や内容を聞き取りながら、予算の過不足が生じるようであれば、検討していきたい。 (産業経済課長)	
	町産材利活用事業について、クラフトに生産・開発等委託して製品を作成・販売してきているが、町外の方ではなく、町内の方が事業を行うほうが持続性があると思われるが、今後どう続けていくのか。 (溝口議員)	高付加価値化事業ということで、旭川にいる木工職人の方にお願ひし、少しずつお皿などの製品を作ってきたが、町内にそういった方が移住する、もしくは町内の方が事業者になることが理想的であり、そのことが町内で経済の循環が生まれることが望む姿だと思っている。しかし、当面は、近隣の旭川や愛別町にある工房の方々に依頼しながら持続可能な取り組みをしていきたい。 (産業経済課長)	
商工労働観光費	層雲峡パークゴルフ場に自動販売機の設置を。 (昔農議員)	今年度において、協力金をいただかない中で取り組みを進めてきているが、今後、自動販売機の設置等も含めて検討していきたい。 (産業経済課長補佐)	
	層雲峡パークゴルフ場に衛生的なトイレの必要性について (湯川議員)	利用者のニーズに合わせた衛生的な管理に向け、取り組んでいきたい。 (産業経済課長補佐)	
土木費	高原温泉道路災害防除事業は終了しているか。 (笠間委員)	補助事業による災害防除工事については、昨年度で終了している。 (建設水道課長)	
	危険箇所は見当たらないという認識で良いか。 (笠間委員)	危険箇所は、ある。しかし、道路が狭く事業化について難しいのが現状の考え方である。 (建設水道課長)	

決算審査特別委員会 総括質疑

(決算審査において行われた質疑のうち総括質疑の一部を紹介します)

質 疑	答 弁
<p>層雲峡・大雪山写真ミュージアムの現状と今後のあり方について</p> <p>層雲峡大雪山写真ミュージアムについて、決算では維持管理経費が827万円で、それに対し収入は44万円ということになっている。また、昨年度の利用人数は、910人。コロナ禍以前に2,500人前後だった数年間と比較して減少している。緊急事態宣言などの影響も大きいと思うが、現状と今後について町長の考えを聞きたい。</p> <p>(籠味委員)</p>	<p>町の観光振興上の極めて重要な施設だと思っている。観光に係る各施設の単体事業をみると、キャンプ場にしても、どこも、かなり厳しい。採算を取るのは、なかなか難しいが、観光施設全体が連動することで観光への影響や存在価値があると思っている。</p> <p>山岳に係わる大規模なミュージアムというのは、国内どこにも無いというのが実態。観られた方からは高い評価を得ていることを大切にしていきたい。従来やり方に加え、展示の仕方、あるいは別なものを導入した見せ方、利用方法など工夫していく必要があると思っている。利用者を広げるための努力をしていきたい。</p> <p>(町長)</p>
<p>館内の貸出用の展示室2つを写真だけでなく、映像、講演会などさまざまな利用をしてはどうか。また、館内にネットが使える作業スペースの設置も考えてはどうか。他の産業では、コロナ禍の中、工夫して新たなニーズを生み出している事例もある。多くの人たちに来てみたいと思われる施設にするため、検討してほしい。</p> <p>(籠味議員)</p>	<p>施設が建設されてから随分経っているので新たな展開を考えていく必要はある。市根井館長もいろいろと考えているので、この場で「何をやる」という即答は避けるが、検討をさらに加えていく。</p> <p>加えて、コロナで学んだことを取り入れ、今後の時代に結び付くことが町の観光、あるいは、まちづくり全体にいい影響を及ぼすと思う。ぜひ、進めていきたい。</p> <p>(町長)</p>



(決算審査特別委員会の様子)



(層雲峡パークゴルフ場)

決算審査特別委員会

委員長報告(抜粋)

委員長 宮本 敬嘉


令和3年度は、国の地方創生推進交付金などを活用した地域振興に配慮した事業が多数にわたり展開され、それらの事業内容についての説明を受けた。


健全化判断比率及び資金不足比率については、全会計ともに健全な数値となっているが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、地方税収等が大幅な減少が避けられない状況で、今後の財政運営はかつてない厳しい状況が予想される。持続可能な自治体運営を確立するために、歳入・歳出の見直しを行い、健全財政の維持に、努めていた

審議に踏まえ、後年度の行政執行及び予算編成に当たり、住民福祉の向上、産業の振興、教育・文化・スポーツの振興等の各分野において更なる発展また、健全財政のもとで各種事業を継続的に推進していくことを期待して、令和3年度各会計決算を認定することに決定した。

議 会 ア ン ケ ー ト 結 果

令和3年2月から3月に、町民の方々のご協力のもと、上川町議会や町政に対しアンケートを実施しました。町政に対して寄せられた意見や要望に対して、役場担当課から回答がありました。誌面の都合上、数回に分けて掲載していきます。

アンケートの記入内容（要旨）	回 答
庁舎訪問者（町民等）の方々に、「お疲れ様です」「ご苦労様です」の声掛けを多くした方が良いのではないかな。	職員に対して、更なる啓発を行い、来庁者へ「おもてなしの気持ち」で接するよう心掛けていきます。
役場退職者の再任用について、待遇が良いのでは？再度の退職金までもらえるのか？	<p>例年、広報かみかわにおいて、上川町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき概要を公表し、より詳しい情報について町HPに掲載しています。</p> <p>また、「上川町の給与・定員管理等について」、「等級及び職制上の段階ごとの職員数」についても町HPで公開していますので、引き続き公表していくとともに、わかりやすい住民周知を図っていきます。</p> 
町職員はかなり給料が高いらしいと聞く。定年になって退職金をたくさんもらって、すぐまた町の仕事に就かせている。もう少し全面的に見て、町の仕事に携わっている人を大切にしたいと思う。	
町職員で町内に住まず、他市町村より通勤している方が多数いて、通勤費まで出している。職員の給料は税金。町内に住んでもらい税金を納めてもらわないとならないと思う。	
町への希望等を伝える書面を投函できる回収箱があればよいと思う。不満ばかりとか、悪意の書き込みは問題だが。	<p>町民皆さんから意見を広く聞き取るため、「みんな（町民）の声」として回収箱を各施設に設置（役場、かみんぐホール、保福センター、医療センター、総合体育館、たいせつの絆、上川駅、森のテラススプリ）していますが、更に今年度から黒岳の湯、PORTOにも回収箱を設置し、広く町民からの意見・要望の集約に努めます。</p> <p>また、意見・要望に係る回答については、希望される場合は回答しています。無記名、希望されない場合においても案件に応じて広報紙で回答しています。</p>
役場一階にある意見書を入れる箱に、意見を入れても返答がなく、町政に不信感を抱きます。アンケートにより意見が届くのであれば、定期的なアンケートをしてほしい。	
公営住宅の冬の現状について、空き家も多々あり、一冬に何度も屋根からの落雪がある。空き家部分の通路が塞がれ、老人達が手作業で通路を確保している。老人には過酷な作業なので行政の手を差しのべてほしい。	公営住宅空き家部分の通路の除排雪については、入居状況を把握したうえで業務箇所を設定し、業者委託によりシーズン中、各団地数回実施しています。また、暖気等により空き家部分からの落雪が生じ通路がふさがったなどのご連絡があった際は、予算の範囲内でその都度個別対応していますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。
「かみつきー」グッズが届いたが、随分と手厚い予算ではないか？費用対効果に疑問がある。	「おもてなしのまち」として、かみつきーシップの推進を図るための啓発グッズとして今後も取り組んでいきます。
上川町は人口減少や高齢化が進み、町内会活動が困難になっている地域が多くなっている。早急な対策が必要だと思う。	各町内会からは加入率減少も含め、意見・要望をいただいています。近隣町でも同様の課題があることから、情報収集を図り対策を検討していきます。

アンケートの記入内容（要旨）	回 答
<p>新型コロナウイルスの蔓延（まんえん）により様々な形で影響がある中、行政手続について対面で行わなければならない状況が続いている。一刻も早くリモート手続ができる環境づくりを進めてほしい。また、その事務の効率化により活用できる人材を増やし、地域の声を地域運営に反映させる仕組み作りを構築することを希望する。</p>	<p>行政手続のリモート（オンライン）化について町の方針が固まり次第、広報誌等に掲載して、住民周知を行っていきたいと考えています。</p> 
<p>コンポストの利用でゴミが激減する。収集、焼却等、現場の労力、施設の傷み、燃料（環境）に大きく好影響があると思う。まずは生ごみを減らす良い方法を模索してほしい。</p> 	<p>コンポストについては、生ごみの減量と環境負荷の低減を目的として、町でも利用を推奨しています。</p> <p>町の交付金団体である上川町リサイクル推進協議会では、従前より生ごみ搬出容器の購入費助成事業を実施しており、コンポストについても1世帯1個を上限に購入費3,000円を助成しています。</p> <p>住民周知については、毎年7月に協議会が発行する「リサイクル通信」（年4回・全戸配布）に購入費助成の記事を掲載し、町内でコンポストを購入していただいた上で、役場住民グループ窓口で助成金を申請いただくようご案内しています。</p> <p>令和4年度についても、7月1日発行の同通信に記事を記載予定なので、正しい設置方法などより充実した記事内容で助成事業についての周知を図るよう努めていきますので、ご理解くださるようお願いいたします。</p>
<p>体育館について、住所、氏名（フルネーム）で書くのは、おかしいと思う。誰が見るかわからないので、番号にするなどにしてはどうか。</p>	<p>氏名、住所、連絡先、利用時間、利用種目、注意事項への同意の有無などを記載した用紙を提出してもらっています。（受付ボックスなどを設置し、そこにに入れてもらっています。）</p> <p>⇒利用者については、毎回記入する手間が増え面倒ですが、個人情報には配慮できます。連絡先を記入いただくことで何かあった時の連絡もとれます。現在、試験的に実施中です。</p>
<p>清川パークゴルフ場に行きたいが、車がなくて行くことができない。100円で乗れるバスを週2回程度利用させてもらいたい。ぜひ実現してほしい。</p> <p>清川パークゴルフ場に車がなくて行くことができない人達が多数いる。年金暮らしでは行けないので、バスがあればという話が出ている。</p>	<p>パークゴルフ場前後で定期バス停留所があること、また、かみくる号の運行経路変更には公共交通会議での承認及び運輸局の許可が必要であり、時間を要することなどから現状では難しいと考えます。</p> <p>また、どの程度の需要があるのか含め、パークゴルフ愛好会から聞き取りを行っていきたいと考えています。</p>
<p>新光町造成地の近くに何十年も前から家を建てて住んでいるが、きちんとした舗装道路でなく、下水道は入らず水洗トイレも融雪槽も作れず、生活排水はたれ流しの状態。要望してもきちんとした説明もない。他の町内の町民と同等レベルの生活をさせてほしい。こんな現状で近くに移住者が来られても温かく心からお迎えできない。現在、上川に住んでる町民を地方へ転出させないよう、もっと目を向けるべきです。</p>	<p>新光町の町道新光西1丁目線において平成26年度に、污水管渠（かんきょ）布設工事の実施を計画しましたが、水洗化に向けた意向調査の結果、接続戸数が望めないことから工事の延期（中止）した経過があります。また、隣接する公営住宅新光町団地はすでに耐用年数を経過し、将来的に用途廃止する計画となっている現有の施設での水洗化の計画はない状況です。以上のことから現状では污水管渠を整備する国の交付金等を活用するための費用対効果では困難な状況と判断することから早期に改善することが難しい状況とご理解をお願いいたします。</p>

委員会の動き

総務文教常任委員会

◎事務調査

▽8月25日

○上川町の財政について

《調査内容》

令和3年度各会計の決算状況概要の説明を受けた後、財政状況（財政力指数・将来負担比率・実質公債費率等）の数値や中央部8町と比較しながら説明を受けた。委員からは普通および特別交付税や各種基金について等質疑、意見が出された。

◎意見書審査

▽9月7日

・所管事務に関する意見書の審査



産業福祉常任委員会

◎事務調査

▽7月21日

○観光関連施設の経営状況等について

《主な調査内容》

・旭ヶ丘地区活性化事業についての説明を受けた。委員からは、令和4年度の具体的な体制や収入の内容について質問が出された。

・起業促進及び誘客交流施設についての説明を受け、委員からは、収支決算の具体的な経費について等質疑が出された。

・観光地づくり対策事業（DMO）についての説明を受け、委員からは、ワーケーションとしての観光誘致等の質疑、意見が出された。

◎審査事項

○上川町認定こども園整備事業について

《主な調査内容》

町内の保育施設と、幼稚園機能を一元化し、幼保連携型の認定こ

ども園を整備する。また、福祉会館で行っている「子育て支援センター事業」など、多目的に使用できるサロンの併設、駐車場を整備する。そのほか上川小学校児童との交流や学校施設の利用など、連携を深め、教育、保育環境の向上を図ることを目的として実施することとし、年度ごとのスケジュールの説明を受け、委員からは木質チップを活用せず、地熱による暖房システムに決定した経緯を十分に内部議論したのか等質疑、意見が出された。

◎審査事項

○令和4年産農作物の生育状況について

《主な調査内容》

水稲及び畑作の生育状況の説明を受け、現地視察調査を行った。

◎審査事項

○上川町の林業について



（大根の生育状況調査の様子）

《主な調査内容》

森林・林業再生プランを基に町有林等の説明を受け、現地視察調査を行った。

◎意見書審査

▽9月7日

・所管事務に関する意見書の審査

議会運営委員会

▽9月9日

・第6回上川町議会定例会（定例3）の運営

議会広報特別委員会

▽9月27日・10月13日

○第187号の編集及び校正

全員協議会

▽9月7日

○行政事務組織の先行再編について

○地方創生臨時交付金（新型コロナウイルス感染症対応）の実施計画について

7/6

全道町村議会議員研修会に参加！



(全道研修会の様子)

道町村議長会主催の町村議員研修会が7月6日(水)、札幌市内で開かれ、全議員が参加した。

新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりの開催。ジャーナリストの泉宏氏が目前に迫っていた参議院選挙情勢とその後の政局見通しなどを講演した。金融政策など、地方への影響が語られ、参加した議員はメモを取るなど、真剣なまなざしで受講した。

8/30 ~ 8/31

行政視察研修を実施！

総務文教常任委員会と産業福祉常任委員会は合同で8月30日と31日、視察研修を行った。

白老町の施設「ウポポイ」で、アイヌの歴史や文化に触れるなどした。そのほか、南富良野町で町立高等学校の運営と道の駅を中心としたまちづくり、富良野市で中心商店街活性化について、関係者からの説明を受け、現地視察も行った。

次回定例会のオンライン動画配信サイト「YouTube」でのライブ中継及び録画映像配信は12月中旬の予定です。是非ご覧ください。

上川町議会チャンネルURL：<https://youtu.be/4yQbpLDQ3k8>

(上川町のホームページではありません。)



(動画配信QRコード)



意見書を提出しました

◆特別支援学校の過大過密解消及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書

提出者 溝口 久男

◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 泉 勝雄

◆北海道教育委員会「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出者 昔農 正春

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣、北海道知事、北海道教育委員会教育長
※各意見書の提出先は異なります。

表紙のコメント

層雲峡インフォメーションセンターが昨年の秋、層雲峡でオープンした。町が開設し、運営管理は大雪山ツアーズ（正式名は地域 DMC 大雪山ツアーズ株式会社）が行っている。専務取締役の穴戸重之さんと事務局長の瀬川耕一さんに話を聞いてみた。

窓口では、観光客へ情報提供を行なうほか、秋からは電動キックボード、電動アシスト自転車、電動バイク、電動三輪車を貸し出した。

夕方に入って宿泊して、朝に旅立つという通過型観光から、滞在型観光の定着を目指すのが大きな柱。キックボードを一日レンタルした観光客から「夕方まで、ゆっくりしたい」という声を耳にして、瀬川さんは手ごたえを感じたという。

宿泊した翌日に車を駐車場に停めたまま、キックボードや自転車で巡って発見できる観光スポットや飲食店など、層雲峡の新たな魅力があるという。

また、冬季に向け、穴戸さんは「防寒着や長靴の貸し出しを考えている」。旭川市や東川町と連携すれば、「貸出返却がどの町でも行うことができる」と、観光客にとっての利便性があがると考えている。

滞在型観光に向けて、次の一手となる「湯めぐり手形」を大雪山ツアーズが冬季に向け、販売する予定。3つの入浴施設が利用できるほか、飲食店などでの割引サービスが受けられ、お得感のある価格設定になる予定だ。

瀬川さんは「観光の回復状況に合わせて、インフォメーションセンターの二階にテナントを誘致したい。ガラス張りからの景色は素晴らしい」と期待を見せる。

大雪山ツアーズは、町の「大雪森のガーデン」、「大雪山かみかわヌクモ」の管理運営のほか、独自の体験ツアーなども企画販売している。穴戸さんは「ツアーズは5年目を向かえた。情報をどんどん発信していきたい。大雪山ツアーズの活動を多くの町民の方に知ってほしい」と話していた。

層雲峡インフォメーションセンターは年中無休。電話番号 01658-5-3350 で、営業時間は10時30分から17時まで（イベント時には、変更あり）

次の定例会は

12月中旬の開催予定です。



詳細のお知らせはチラシでお知らせします。
感染症の発生状況により傍聴を中止する場合があります。

【問い合わせ先】

議会事務局

☎(01658)2-4064(直通)

議会・議会広報 に対して

みなさまのご意見をお寄せください。



議会広報は、

上川町ホームページでもご覧いただけます。

※広報委員（籠味、湯川、笠間、宮本、昔農）
または、議会事務局へ 電話（01658）2-4064（直通）

【ホームページアドレス】

<https://www.town.hokkaido-kamikawa.lg.jp>

